

学苑



FCV・EVプロジェクト



キャンパス父母懇談会



TDU プリコンサークル



TDU_TeamDauntlessUncharted

vol.172
特集!

2025年度 父母懇談会報告(キャンパス会場・地方会場)

参加者のみなさまからの声 p.3

就職キャリア支援 p.7

内定者インタビュー p.8

学部生紹介 p.13

各キャンパスの紹介(CAMPUS MAP) p.18

サポート募金実施事業について p.19

Topics

イベント参加支援結果発表 p.15

TDU プリコンサークル

TDU_TeamDauntlessUncharted

FCV・EVプロジェクト

皆さまには、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

後援会では、5月開催の評議員会（総会）で承認された事業計画に基づき、事務局のご支援をいただきながら活動しております。



後援会長 新澤 佳代

【総会】

5月31日（土）に評議員会（総会）を開催し、2024年度の振り返り（事業報告・決算報告）をしたうえで、2025年度の計画・予算案ならびに後援会会則の改正について審議し、承認されました。



【常任評議員会】

今年度は、常任評議員会においてのペーパーレス化を試みることであり、資料の配布や会議場の配置なども検討しながら進めております。

6月28日（土）の常任評議員会では、2026年度からの会費改正について審議し、年会費を一律7,000円に改正することとなりました。今後も支出削減への努力を行いながら、後援会の運営に努めていくことを確認いたしました。

7月26日（土）の常任評議員会では、イベント支援や学食支援についての意見交換を行い、運営方針の確認をいたしました。

【父母懇談会開催事業】

9月、10月は、後援会の主要イベントである「父母懇談会」を、キャンパス会場（2会場）・地方会場（9会場※内1会場はオンライン）で開催いたしました。千住キャンパスでは、学生食堂を利用し後援会会員相互の交流が生まれるよう工夫しております。鳩山キャンパスでも交流が生まれるような懇談会の開催を模索していきたいと思っております。地方会場では、参加された保証人の皆様にも簡単な自己紹介をお願いしたところ、相互の交流が生まれました。教員との個人面談、大学職員との個別相談などだけでなく、会員相互の交流の場としての

父母懇談会を開催していくことができるように努めて行きたいと思っております。皆様のご意見、ご感想を父母懇談会のアンケートにぜひご入力ください。

【広報活動】

キャンパス会場における学生の様子をお伝えする情報誌『学苑』を7月と11月（本号）を発行いたしました。過去の「学苑」も掲載しておりますので、ぜひ、後援会のホームページよりご覧ください。



【学生支援活動】

7月26日（土）の常任評議員会終了後、学生によるイベント参加支援の審査を行いました。今年度は4つのプロジェクトおよび部活に資金援助を決定（※）しました。コロナ禍より応募団体が減少したままですが、今年度は、当日のプレゼンテーションに対して最も応援したいと感じた団体に対して常任評議員が一人1票を投じ、最も得票数の多い方から「金賞」「銀賞」「銅賞」として援助金を加算するという試みをしました。この後援会の取り組みが学生の話題となり、各種イベントへの参加（挑戦）を少しでも後押しできたならとの常任評議員の熱い思いがこもっております。



※p15にイベント参加支援決定団体からの報告を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

2025年度 父母懇談会 事務局中間報告(キャンパス会場)

今日では多くの大学において父母懇談会が開催されておりますが、本学では他大学に先駆け1967(昭和42)年から父母懇談会を開催し、ご父母・保証人と後援会役員、大学教員、大学事務局と共に懇親を深めつつ、大学の状況、教育、生活をご父母・保証人へお伝えしてまいりました。

父母懇談会のキャンパス会場は、各学科・学系の教員が個人面談を実施しました。また、併せて、学修・就職・学生生活の個別相談コーナー(学生による大学院紹介、成績学修相談、就職進路相談、学生生活・奨学金相談)を設け、事務職員が対応いたしました。

東京千住キャンパス会場では、9月6日(土)に工学部、工学部第二部、9月13日(土)に未来科学部、システムデザイン工学部の全学年を対象として、個人面談や個別相談のほか、ものづくりセンター、総合メディアセンター(2号館1階)の自由見学の開催をさせていただきました。

埼玉鳩山キャンパス会場も同様に、全学年を対象に9月20日(土)に開催することができました。

お陰様で、東京千住キャンパス会場・埼玉鳩山キャンパス会場共に、昨年のキャンパス会場の参加者より多くのご父母・保証人のみなさまにご出席いただき、無事に終えることができました。ありがとうございました。

*父母懇談会のキャンパス会場にご参加いただいたご父母・保証人のみなさまより「父母懇談会参加者のみなさまからの声」が届いておりますので、ご覧ください。

*次号では、父母懇談会「地方会場」の報告を予定しています。

会場	開催日	後援会役員	面談教員	出席者数	
東京千住キャンパス	9/6(土) 全学年対象 [工学部・工学部第二部]	会長・常任評議員 (6名)	各学科教員 (61名)	438組	632名
東京千住キャンパス	9/13(土) 全学年対象 [未来科学部・システムデザイン工学部]	副会長・常任評議員 (5名)	各学科教員 (65名)	402組	578名
埼玉鳩山キャンパス	9/20(土) 理工学部(全学年対象)	会長・副会長・常任評議員 (10名)	各学科教員 (66名)	288組	437名
本学キャンパス会場 計				1,128組	1,647名

後援会役員より父母懇談会の報告

●常任評議員 山口 裕美(9/6 東京千住キャンパス)

東京千住キャンパスの父母懇談会に今回初めて参加させていただきました。
残暑厳しい折でしたが、個人面談のあとに多くのご父兄が参加されておりとても盛況でした。ソフトクリームやアイスコーヒーも大好評で、和やかな雰囲気の中、教職員の方も交えながらいろいろな話をされていたようです。
会場で配布されたアンケートのご回答にも多くの方々、その場でご協力をいただき、皆様の関心度の高さが窺えました。
大学でこのような懇談会の取り組みは少ないのではないかと思います。大変有意義な懇談会となりました。

●常任評議員 増田 真由美(9/6 東京千住キャンパス)

残暑が厳しい中、沢山のご父母、保証人の皆さまがご来校されました。面談が終了した皆さまには学生食堂にてコーヒー等で休憩される際に日替わりメニュー等も召し上がっている方々も多く見られました。なかなかキャンパス内に入る事もないと思うのでメディアセンター、ものづくりセンター、学内掲示板など学内を知っていただく良い機会になったのではないのでしょうか。また研究活動等のパネル展示も多くの方に見ていただけた様でとても良かったと思いました。ご来校された皆さま、事務局の方々、後援会の方々ご協力ありがとうございました。

●常任評議員 岡村 有希子(9/13 東京千住キャンパス)

微力ながら、お手伝いに参加させていただきました。個人面談や個別相談には、ご夫婦での参加が多くみられたのがとても印象的でした。アルバイトの学生さんも、みなさん「より効率的に!」とテキパキとお仕事なさっており、電大生の頼もしさを感じました。

●常任評議員 鈴木 由香子(9/13 東京千住キャンパス)

今年も多くの保護者の皆様にご参加いただきました。個人面談では教職員とお話しただけ、皆様にとって大変有意義な時間となったことと存じます。保護者同士が交流を深められる貴重な機会に、私自身も参加できて大変嬉しく思います。今後も多くの皆様にご参加いただき、この交流の機会をご活用いただきたいと思います。

●副会長 沢村 直子(9/20 埼玉鳩山キャンパス)

鳩山キャンパス懇談会の担当3年目となりました。毎年数多くのご父母の皆様が御来場され、真剣に個人面談、個別相談をされている様子が伺えます。大学生ともなると親が関わることも少なく、なかなか様子を知ることが出来ませんが、先生との面談、職員さん、大学院生に色々と質問が出来、とてもいい機会だなと感じています。

●常任評議員 水岡 朋子(9/20 埼玉鳩山キャンパス)

個別相談ブースへの誘導を担当しました。今回導入した順番状況を知らせるサイネージが好評で、待ち時間にキャンパス内や食堂を見て回るなど時間を有効活用して頂け良かったです。中でも「院生と話そう」コーナーは今年も人気で、生き生きと話す学生に自身の順番を忘れるほど聞き入っておられました。
今後、同じ立場の保護者として役員と参加者の交流の機会を深めるなどしてより良い懇談会になるよう努めてゆきたいです。

特集

2025 年度 父母懇談会報告 参加者のみなさまからの

キャンパス会場

声

後援会主催の父母懇談会では、学内の最新の情報やご子女の学修、就職状況など、タイムリーに紹介されております。父母懇談会へぜひご参加ください。



東京千住キャンパス会場
9月6日(土)

工学部 電子システム工学科
五十嵐 智子様

2025年4月に息子が工学部に入学しました。成績のことや大学院のことが気になっていたところ、個人面談が来ると聞きすぐに申し込みました。面談には思っていたよりも多くの保護者の方が参加されていることに驚きまし

た。教授と直接お話するということで緊張しましたが、成績表や出欠表を見ながら今の単位取得状況や、将来の就職や大学院に向けてのアドバイスを丁寧に説明して頂き、大変有意義な時間を過ごすことができました。

また東京千住キャンパスの施設を見る良い機会になりました。ものづくりセンターでは3Dプリンタでミニチュアのカラーコーンを作っている所を見学させて頂きましたが、息子の学びの環境が非常に充実していると感じました。来年も参加したいと思います。



東京千住キャンパス会場
9月6日(土)

工学部第二部 情報通信工学科
兼子 春彦様
直子様

父母懇談会には、毎年参加させていただいております。今回も成績についてご相談させていただきましたが、毎回先生が成績表をご覧になりながら、丁寧に説明くださり、的確なアドバイスをいただいております。

息子は中学校時代、友人には恵まれていたものの、不登校の時期がありました。しかし高校では、塾にも通いなが

ら本人なりに努力を重ね、無事に大学進学を果たすことができました。

大学では、高校で学んでこなかった分野に苦戦することもありましたが、現在は4年生となり、サークル活動なども通じて素敵な先輩方との出会いにも恵まれ、充実した学生生活を送っているようです。東京電機大学に進学できて、本当に良かったと感じております。

「技術は人なり」「良き技術者は、人としても立派でなければならない」という大学の理念を、先生方が日々のご指導を通して実践されているのだと感じております。

大学の教職員の皆様、関係者の皆様、そして後援会の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。



東京千住キャンパス会場
9月13日(土)

システムデザイン工学部
デザイン工学科
足立 栄希様
小林 邦子様

父母懇談会は高校までの行事だと思っていました。しかし、先生と直接お話できる貴重な機会だと思い、参加しました。

子供は成績について何も言わないので、面談で先生に成績表を見せていただき、初めてどのような状況なのかわかりました。入学前は意気込んでいたものの、いざ始まって

みると勉強よりも友達と遊ぶことの方が楽しく、そちらが優先になっています。それが心配だと先生とお話すると、楽しく通っているなら安心、と仰っていました。

1年生の前期は友達ができて大学に慣れることが一番であると。大学の先生が学生の生活面にも気を配らなければいけないと時世なのかと少々驚きました。それと同時に、申し訳なくもあり、ありがたいことだと思いました。

先生方に感謝すると共に、学生はもっと自覚を持つべきであると子供に伝えました。

父母懇談会では、いろいろな気付きがありました。貴重な機会をありがとうございました。



また、同じ大学で学ばれているご父母・保証人同士の交流や情報交換の場としても活用していただけます。



東京千住キャンパス会場
9月13日(土)

未来科学部 建築学科
石井 秀典様

息子が未来科学部建築学科3年に在籍しております。この度、父母懇談会に夫婦で参加させて頂きました。息子から大学院に進学したいとの話があり、大学院では何をどのように学ぶのか？就職はどうか？などの疑問点がございました。

当日はゼミでお世話になっている先生から現在の成績と大学院でどのような内容をどのように学ぶ(研究する)か、先生のご体験と共に具体的にお話しいただき理解する事が出来ました。大学院生ブースでは大変偶然な事に、息子と同じゼミの先輩である大学院生の方から大学院生活についてお話を伺い、更に鮮明に大学院生活をイメージする事ができ、疑問も解消致しました。

父親として今回、初めて懇談会に参加させて頂き大変良い機会となりました。本当にありがとうございました。これからも息子の大学生活を応援いたしますので今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。



埼玉鳩山キャンパス会場
9月20日(土)

理工学部
情報システムデザイン学系
谷野 数樹様
和子様

息子は学部4年生になり院に進む事を決めました。理工学部情報システムデザイン学系に所属しています。1、2年生の父母懇談会は地元静岡の会場に参加しました。そちらでも成績や奨学金の説明などわからない事を丁寧に説明していただきました。3年生からは研究室の先生にご挨拶

拶したく鳩山キャンパス会場に参加しています。懇談会では先生から大学での様子や研究への取り組み、成績についての説明を受け、インターンや就活の進め方などのアドバイスもいただき、親としても大変参考になり、また安心出来る機会になっています。

息子の暮らしぶりを見ながらキャンパスの雰囲気を感じ大学に通う学生さん達を見るのも楽しみの1つです。在学中はできるだけキャンパス会場に足を運びたいと思います。教員の皆さま、後援会の皆さまには心より感謝申し上げます。



埼玉鳩山キャンパス会場
9月20日(土)

理工学部 建築・都市環境学系
幸前 吉洋様
伸恵様

大学へ進学後は、保護者の関与が無くなると考えておりましたが、入学後に父母懇談会があると案内があり参加しました。

通学するキャンパスへ実際に足を運ぶことで、オープンキャンパスや学園祭と違い普段の学習環境を垣間見ることができました。

個人面談では成績表を見ながら学習状況や単位について丁寧にご説明いただきました。学習面だけでなく学生生活などについても先輩方の事例や今後何をすべきかを伺うことができました。時間が足りないくらいでした。

個人面談とは別に進学や就職、学生生活について個別に相談するブースがありました。昼食事情や自分たちの頃と全く異なる就職活動の状況など、不安な部分も相談、解決できて安心しました。充実した学生生活が送れるよう教職員の方々、後援会の皆様よりサポートいただいていると実感しました。心より感謝申し上げます。

次回も参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

奨学金制度のお知らせ

東京電機大学では下表に示すように10種類の大学独自の奨学金制度があり、修学支援に力を入れています。さらに「日本学生支援機構奨学金」や各種団体による奨学金を含めると、学部生と大学院生を合わせて、4,000名を超える学生が奨学金を利用して学生生活を送っています。

奨学金に関するお問い合わせは、各キャンパス（学生厚生担当）まで、ご連絡をお願いします。

名称	資格	募集時期	採用時期	金額	返還	(2024年度)採用実績
特別奨学金 (給付)	学部2～4年次、大学院博士課程に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	5月	7月	学部 280,000円 博士課程 500,000円	—	学部25名 大学院(博士) 37名
大学院進学特別奨学金 (給付)	本学大学院修士課程への進学促進のための経済的支援策(経済的に修学困難な学生への支援策)として学内推薦入試で合格した本学学部生のうち、成績ならびに人物が優秀な者。	4月	7月	200,000円	—	学部119名
大学院進学貸与奨学金 (貸与)	本学大学院修士課程へ学内推薦入試または一般入試(前期)にて進学予定の者。	4月と8月の 年2回	6月 10月	第2回入学手続金の うち授業料相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	18名
学生応急奨学金 (給付)	学部・大学院に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者。	1年以内に家計急変があり学費支弁が困難な者で、他奨学金の貸与状況・家計急変状況・学費延納状況等から総合的に判断し、本奨学金の趣旨に相応しい人物を採用。定期募集は行わない。		学部 50万円の範囲内で決定 大学院 30万円の範囲内で決定	—	0名
学生サポート給付奨学金 (給付)	学部・大学院に在学し、過去1年以内に家計に急変があり、修学意欲がありながら学費支弁困難であり、大学が主催する学生行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる者。	5月と9月の 年2回	7月 11月	250,000円	—	1名
深井綾女性研究者・技術者 育成特別奨学金 (給付)	大学院に在籍し、本奨学金の趣旨を理解している者で、大学行事において学生ボランティアスタッフとして協力できる女性学生。	5月	7月	100,000円 ただし、工学研究科 (社会人コース)在籍 者は66,000円	—	99名
学生救済奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、保証人(家計支持者)の経済的な理由で学費の支払いが困難な学生。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の 年2回	6月 11月	該当学期(セメスター)分の学費相当額。 奨学金は学費に充当する。	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	4名
学生支援奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、本学主催の海外英語研修への参加および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする学生。貸与は在学期間中1回に限る。	随時		30万円の範囲内で査定	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	4名
大学院貸与奨学金 (貸与)	大学院に在学し、人物優秀にして学業成績が良好、かつ学費支弁が困難な者。	4月と9月の 年2回	6月 11月	該当学期の 学費相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	2名
校友会奨学金 (貸与)	学部・大学院に在学し、家庭の経済的事情の急変により学業継続が困難な学生(主に卒業年次生対象)。貸与は在学期間中1回に限る。	4月と9月の年2回		1回に納入する学費等の相当額	無利子・ 卒業後5年間 (繰り上げ返還可)	0名
日本学生支援機構奨学金 (貸与)	国が実施する貸与型の奨学金。 第一種(無利子)と第二種(有利子)がある。 ※大学院修士段階における「授業料後払い制度」(第一種(無利子))	4月と9月の 年2回	6月 11月	奨学金の種類等により 月額2万円～12万円 (学部)	卒業7か月後から機構が定める 金額、期間で割賦返済。	在学生の 約40%が利用
日本学生支援機構奨学金 (給付)	国が実施する給付型の奨学金。 学部生のみ。	4月と9月の 年2回	6月 11月	経済基準及び通学形態等により 月額9,600円～ 75,800円	—	学部 約1,000名
各種団体による奨学金 (給付・貸与)	地方公共団体や、各種民間団体の奨学金募集が数多くあり、毎年30～50名程度が利用。					

東京千住キャンパス地域との交流



東京千住キャンパス開設年度より継続して協力している、本学学生の千住本氷川神社例祭神輿担ぎについて、昨年度に続き本年度も本学学生「旭祭実行委員会」「ボランティア部」が参加してまいりました。

昨年度に引き続きの協力となり、学生が神輿担ぎに協力することで、地域の皆さんと交流を深め、千住地区を大いに盛り上げてくれました。また前回参加した学生が今年も参加するなど協力学生団体の中でも継続性が生まれています。さらに今年は5年に一度の大祭となり、神幸祭渡御や大祭御旅所など例年のお祭りでは経験できない神事が行われ、貴重な経験となりました。



特集

東京電機大学

就職キャリア支援

～電大による電大生のための進路・キャリアをサポート～

■学科・学系と連携し進路・就職ガイダンスを開催

進路・就職ガイダンスは各学科・学系の就職担当教員と連携して3年次になる直前の3月と3年次の後期の初めに開催しています。1回目のガイダンスでは、就職活動の流れやインターンシップの重要性などを伝えています。学科・学系からは研究室配属や大学院進学などについて説明があります。2回目のガイダンスでは、前期の活動を踏まえながら希望の進路に向かって実際に活動していくための必要な情報等について共有しています。自己分析講座、業界・職種研究セミナー・面接対策講座・グループディスカッションなど様々な支援を実施しています。

■就職と進学で悩む学生の支援

進路を選択する際、大学院に進学か企業などに就職かなどの進路相談が毎年あります。最近は企業の採用が早期化傾向にあるため焦って決めてしまわないよう、ご家族でよく話し合うなどして欲しいと思います。本学では、教員、就職担当職員、キャリアアドバイザー、卒業生、先輩学生などによる進路に関する支援を展開しています。

本学では就職支援だけでなく、大学院進学に関する支援も行っています。後期の初めには現役の大学院生(修士)によるトークライブをオンラインで開催します。主な内容は大学院生の一日の生活や就職活動などについてです。

■キャリア支援最大のイベント「卒業生による仕事研究セミナー」を開催

卒業生から直接仕事の話を聞くことができる「卒業生による仕事研究セミナー」は、学生から満足度の高いイベントの一つです。

本セミナーは後援会よりご支援をいただいております。今年度は対面とオンラインの2種類で開催する予定です。対面での開催は学外の渋谷の会場で12月16日(火)と志木の会場で1月22日(木)、オンラインでは1月26(月)～28日(水)に開催いたします。12月16日はこのイベントのために授業はありません。

対面とオンラインを合わせると約300社の企業の卒業生から仕事の話や、就職活動、仕事のやりがいなど卒業生ならではのアドバイスなど貴重な情報を得ることが出来ます。学生たちは先輩の話を聴いて、仕事の理解や魅力を知ることや就職活動の仕方や志望企業を選定するなど絶好の機会であり、普段、社会人と接する機会が少ない学生にとっては卒業生と会話をすることでコミュニケーションの重要性を確認する上でも貴重な経験をすることができます。

このセミナーに参加するために学生には事前説明会を開催し、予め企業研究をするなど準備をしっかりと整えて参加できるように説明を行っています。採用選考においてはオンラインと対面の2つのパターンで面接を実施する企業が増えておりますので、それぞれに参加することで話の伝え方や印象の違いを実感することも狙いとしています。低学年や大学院進学が決まった4年次も参加できます。



学生最後の挑戦を悔いのないものにする為には



工学部 情報通信工学科

小金澤 龍斗さん

内定先

株式会社オリエンタルランド

——学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)

私は大学受験で満足のいく結果を出せず、最も自分の為になると感じたこの大学に入学しました。その為就職活動も見据え、IT知識に関する情報を充分に吸収する事ができる講義を調べ、履修登録を行いました。その中でも特に、インターネットプログラミングという講義が私にとってとても役立ったと記憶しています。これまで触れてこなかったプログラミング言語を学び、1からWEBサイトを制作します。その後、チームで1つのWEBサイトを制作するという、中々経験できない事をさせていただきました。この経験は就職活動にも大きく影響したと思います。

——学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

大学入学後、中学校から続けていたハンドボールの楽しさを広めたい思いが強く、部活動を立ち上げる為に行動しました。1年次から交友関係を広げ、所属する事で双方にメリットが生じると説得し、初年度で31名の部員を集めました。その後、学生厚生職員の方の協力をいただきながら、4年次で180名が所属した同好会へと成長させる事に成功しました。これは私にとって非常に大きな経験となり、何かを成そうとした時、自分が率先して行動し目標や誰か部員にとっての提示した利益をブラさない事の重要性を学ぶ事が出来ました。

——就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行ったことや役立ったことなど)

私はエンタメ系企業に興味があり、大手志望であったのでとにかく様々な企業の選考を受け、受かった中から就職

先を決めるスタイルでした。WEBテストはネットに掲載された問題を繰り返し解き、面接対策は面接官からの質問を推測し予めPCのメモ帳に自分の答えを準備していました。どんなジャンルの質問をされるのか考えておくだけで、想定外の質問でも即興で回答しやすくなったと思います。これに加え、キャリア支援・就職担当の方に何度も面接練習をしていただき、とにかく慣れできるよう準備しました。

——就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

大人との話し方について、何度かアドバイスを貰いました。私たち就活生が相手にするのは、同じような就活生を何万人と見てきた目の肥えている面接官で、大学生が少し考えた程度の誇張や脚色はすぐ見抜かれてしまう事や大人ならではの差別化の方法など、大学生では中々思いつきにくい部分を補って貰ったと思います。また内定をいただいた企業の中から就職先を決める時、各企業の待遇や株価の情報、評判など社会人としての意見を貰えたことはとても助かりました。細かい事で言うと、面接前の駅への送迎や、変にソワソワせずいつも通り接して貰えたことが一番助かりました、とても感謝しています。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

就職活動は本当に苦しいし、辛いです。面倒な事は多いし、ストレスやプレッシャーで逃げたくなりました。それでもどうにか踏ん張って、自分が満足する結果まで辿り着いてほしいです。この時代は売り手市場と言われていますが、私の場合は本選考で31社受け、内定は5社だけでした。転職も当たり前ですが、前職の経験は重視されると思います。だからこそ今頑張って、将来の可能性をできる限り増やすべきです。本気で取り組みれば、後悔は確実に減ります。ここまで読んでいただいた方の就職活動が上手くいく事を、心から願っています。



努力と共にありのままの自分で



第二工学部 電気電子工学科

江頭 佑紀さん

内定先 東日本旅客鉄道株式会社

——学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)。

工学部第二部の卒業研究は基本4年の4月から本配属であり、就活の時期を考慮すると卒業研究よりも学業の成績の方が大きなアピールポイントになると考えていました。そのため授業や課題、実験などには真面目に取り組み、各学年でのGPAは3.0~3.2程度となるよう成績の維持に努めました。また、自分が就職先でも使うであろう科目に関しては特に重点的に理解を深め、好成績を修められるよう努力しました。

——学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

私は大学入学時からずっと家電量販店でアルバイトをしており、スマホの契約と家電製品の販売を行っていました。接客業で培ったコミュニケーション能力、社会人としてのマナーや有り方、契約におけるコンプライアンスへの理解やお客さんとの信頼関係の構築、会社の構図や企業としての経営などの考え方など、たくさんのことを知り得ることができ、就活の面接やESにおいては大いに役立ちました。

——就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行ったことや役立ったことなど)

面接が複数回あったことから面接を特に重要視しており、自己分析と企業分析は丁寧に行いました。インターンシップや会社説明会などのイベントには積極的に参加し、企業の公式HPを閲覧することで企業への理解を深めると共に、

その企業が新しい人材に対して何を求めている自分ならどのような貢献ができるかをPRとして固めていました。相手は採用のプロなので、変に取り繕わずに素直に会話することが大事なのではないかと考えています。

——就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

サプライズのような形で報告したかったというのもあり、両親には就活の状況についてほとんど話していませんでした。しかし、逆にそのおかげで普段通りの生活を送ることができ、就職活動中に余計な緊張感を感じずに済んだのではないかと考えています。前述したように素直であること、なるべくありのままであることが大事だと私は思っているため、自宅では普段通りの家族がいてくれたことこそが私にとってはよかったです。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

正直なところ就活はとても大変で心身ともに疲れてしまうこともあると思いますが、就職した企業は今後長い時間を過ごすことになる場所です。第一希望でなくとも自分の希望する企業に就職することができれば、その先は長く明るい未来が待っていると思います。人によって考え方は違うと思いますが、私は狭く深く就活を行ったことで就活をやりきることができ、希望した就職先から内定をもらうことができました。残りの大学生活を楽しみつつ、自分なりのスタイルで就活を乗り切れるよう応援しています！



やりたいことを貫き、掴んだ進路



未来科学部 建築学科

山本 祐輝さん

内定先 大成建設株式会社

——学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)。

私は授業中の教授の発言が今の進路に影響していると思います。建築学科では他分野にわたる講義があるので、自分の得意分野を理解出来ます。しかし、それよりも講義の中での教授の何気ない発言や雑談に対して自分がどのように感じるかが大事だと思いました。都市系の教授の「日本の都市は駅中心が多い。」設備系の教授の「設備が建築に命を吹き込む。」構造系の教授の「構造は達成すべき数値がある。」それぞれの考え方に自分がしっくり来たものが進路の道標になると思います。

——学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

ジャンル問わず様々なことをしました。アルバイトは合計5つこなしました。もんじゃ屋のアルバイトでは毎月口コミを名前入りでとるという目標があるのですが、数か月にわたり口コミ数取得数を店内上位でした。自分にはガクチ力がないと悲観的にならずに自分の持てる武器を探すべきだと思います。他にも委員会ではないですが、大学の学生モデルやオープンキャンパススタッフ、旅行、どれもいいエピソードになりました。

——就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行ったことや役立ったことなど)

私は、事前準備に力を入れました。インターンで会社の人と対面した際、質問を重ねて会社の解像度を上げました。どの企業もWebテストは絶対に受けると思うのでここで躓

いてしまうのは勿体ないです。また、企業の実績を調べていくとその建物に携わった人の記事を見つけることが出来ます。面接の際にその記事の人と対面できるかもしれないので企業研究含め、調べておく価値があると思います。私は実際に調べていた人が面接官として何人も出てきました。

——就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

私は当時、建築学生として就職活動をしていたため視野が狭かったです。両親から建築学科で学んだことは様々な業界で活かせることを教わりました。どのような会社に入りたいか、どのようなことをしたいのか。これを1つの業界から探すのではなく、異なる業界や職種からアプローチできないかを調べていくと見える景色が変わってくると思います。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

自分の欲に忠実になるべきだと思います。インターンやOB訪問に行き、自分のやりたいことを見つける。その中で周り比べて自分は実力不足かもしれないと卑下すべきではないです。インターンでしつこく質問する。多くの人にOB訪問する。何回もES添削をしてもらう。遠慮せず、周りを頼ることこそが1番有益だと思います。就活は周り自分の進捗状況を比べて不安になっても、自分自身を「相対評価よりも絶対評価」で見えてあげてください。みなさんそれぞれの武器で挑戦してください！ 応援しています。



やりたいことで得た経験が自信へ



システムデザイン工学部

情報システム工学科

藤井 綾さん

内定先 沖電気工業株式会社

——学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)。

私の印象に強く残っているのは、情報システム工学PBLの講義です。ここでは、身近な社会の問題点をテーマとして設定し、少人数グループ全員で主体的に具体的な解決策を検討しました。意見を出し合いながら課題に取り組む中で、チームで協力して物事を進める力や、論理的に課題を分析し解決策を導く力を身につけることができました。これらの経験は、今後の研究活動や社会人としての仕事にも大いに活かせると感じています。

——学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

私は、中学校から現在のサークル活動に至るまで携わってきたハンドボールを広めたいという思いから、マイナー競技や地元スポーツに力を入れたアプリ運営を行う会社に大学3年次の夏から長期インターンシップに参加していました。チームで意見を出し合いながらサービスを形にしていく過程で培った、協調性や課題発見・解決力は、今後の学びやキャリアに大いに活かせると考えています。

——就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行ったことや役立ったことなど)

就職活動においては、企業が製品やサービスを開発する際に、どのような点に力を入れているのかを理解することが、大いに役立ちました。志望している業界の課題点と共に結びつけることで、選考の場でも高く評価されたと感じ

ています。さらに、面接で趣味や休日の過ごし方といった質問が出た際には、自分らしさを表現できる良い機会だと捉えました。好きなことを率直に話すことで会話が広がり、その後の面接もより円滑に進められたと実感しています。

——就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

父母ともに私が志望していた業界で働いているため、業界全体の動向や会社ごとの特徴について話を聞くことができました。そのおかげで、志望企業を選ぶ際の視点が広がり、企業研究を深める上で大いに役立ちました。さらに、生活面では仕送りをしてもらい、アルバイトの頻度を減らすことで就職活動に集中できる環境を整えてもらいました。こうした支えのおかげで安心して活動に取り組むことができました。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

大学生活の中で、自分がやりたいことを見つけて追い求めることは、とてもいい経験になると思います。何かに全力で取り組んだ経験は、就職活動において必ず自信につながります。自信をもって前向きに挑めば、その姿勢は企業に伝わり、あなたの魅力を評価してくれるはずです。就職活動を始めるみなさん、自分を信じて取り組んでください！応援しています！



家族に恩返し、ただその思いで



理工学部 理工学科生命科学系

神子 絵奈さん

内定先 東洋製罐グループホールディングス

——学業について

(授業や課題、卒業研究で役立ったこと・印象に残ったことなど)。

就活では食品系と環境系のメーカーに興味があったため、その分野の知識を深く正しく、技術的な面から学べた点は大きな利点でした。内定先を志望したのも、講義で食品容器の優れた機能性に感銘を受けたことがきっかけでした。

——学生生活について

(学業以外の学内・学外で活動したこと、経験になったことなど)

3年次から始めた環境NPOでの長期インターンは、まさに“この質問に答えるため”に取り組んだこと。活動内容は森林整備等のフィールド活動やブログ作成、イベント企画まで様々で、どれも初めての経験ばかりでした。限られた時間の中での活動だったため、現状に対して私にできることはなにか、私の役目はなんなのかを考える習慣が身につく、またフットワークも軽くなりました。現在は社会人生活を見据え、資料作成やメール対応等の事務作業にも取り組んでいます。

——就職活動について

(採用選考に向けた対策で主に行なったことや役立ったことなど)

志望の職種上、企業への深い理解は不可欠だと考え、情報収集には時間を惜しまず取り組みました。大学主催や志望先主催の展示イベントには何度も足を運び、社員の方々と対話を通じて、製品のコンセプトや誕生秘話、業務内容への理解を深めました。さらに、創業者の人生や、想定される面接官の経歴・発信内容にも目を通すなど、人にも焦点を当てて情報を収集しました。



面接はあくまで会話と捉えていたため、話す内容に重点を置き、友人や大学のキャリアアドバイザーを頼り、面接練習を重ねました。さらに、通学中や入浴中、就寝前など、隙あらば脳内で練習を重ね、本番でパニックにならないよう対策しました。

——就職活動中に、ご父母・保証人の方にしてもらってよかったことについて

家族がいつも通りに接してくれただけで救われていました。中でも、母の力は絶大でした。“家族、特に母のために”という絶対的な思いを胸に必死に就活していたある時、母から「どこでもいいんだよ！ えなちゃんを選んだ企業さんだからね！」と連絡がきました。私の気持ちを見透かしての発言なのかはわかりませんが、いずれにせよ勝手に抱えた“責任”から解放され、心に余裕が生まれました。これほどまで素敵な人の元に生まれて本当に幸せだと思った瞬間でした。家族と会う機会はあまりありませんでしたが、その分会えた時の安堵感は凄まじく、今でも忘れられません。

——就職活動に臨む学生に向けて、メッセージをお願いします。

就活中、周囲との差に劣等感を抱いて『たれば』ばかり羅列することがあるかもしれません。実際、私がそうでした。しかし事実は変わらないもの……。だからこそ、この就活でこれまでの選択を正解にしてほしいと思います。要するに結果オーライということです。不安な人ほど精一杯勤しんでみてほしいです。どんな結果でも、“あの時の最大限を出し切った”という事実が今後の支えになると思います！ 最後、笑顔で学生生活に幕を閉じられることを願っています。



学部生紹介 Interview



塩澤 悠希さん

工学部
情報通信工学科 4年

東京電機大学へ入学したきっかけ

私は小金井キャンパスにある東京電機大学中学校・高等学校に中学から在学していました。その中で先輩方のお話を直接伺う機会があり、最も身近な大学で自分のやりたいことが実現できそうだと感じ、入学を決めました。

課外活動について

● ボランティア部らいふ

高校時代にカンボジアでのボランティア研修に参加した経験から、大学入学後すぐにボランティア部に所属しました。積極的に活動していたこともあり、1年生の6月から副部長、3年生では部長を務めました。入部当初はコロナ禍明けで活動が停滞しており、先輩



方も部長以外は私とほぼ同時期に入部した数名のみという状況でした。活動内容も、学内で回収したペットボトルキャップの洗浄や清掃活動に限られていました。そこからキャップの回収量を増やしたり、清掃活動の種類を拡大したり、地域イベントへの参加や主催イベントの企画など、活動の幅を徐々に広げていきました。その結果、現在では部員が110名を超える大きな団体へと成長しました。地域の方々からの信頼も厚く、さまざまなイベントでお声がけいただけるようになりました。昨年は、千住を題材としたNHK BSの番組にも取り上げていただき、大学と地域をつなぐ団体として広報面でも貢献できたことを嬉しく思います。こうした活動を通して、組織運営や社会人との関わり方、プロジェクトの進め方など、多くのことを学ぶことができました。

● 旭祭実行委員会

活躍する先輩方の姿に憧れ、1年生から旭祭実行委員会の広報局に所属しました。当初はWebサイト制作に携わりたいと考えていましたが、人数の関係でパンフレット担当に配属されました。そこでIllustratorやPhotoshopなどの基礎を身につけることができました。それでもWeb制作に挑戦したい思いがあり、夏休みに独学でページを作成し、先輩に提案したところ、採用され、2年生からはWeb制作班の責任者を任されるようになりました。委員会内の連絡ツールの整備や、当日のシフト管理アプリの開発など、局を越えて幅広



まとめる経験も積むことができました。今年は、後輩たちが中心となって運営する旭祭を楽しみにしています。

● 新聞委員会

1年生の終わり頃、学科の友人に誘われて学内広報誌「TDUPRESS」を発行する新聞委員会に加入しました。当初はWeb版の構築を目的にホームページ整備担当として誘われましたが、旭祭実行委員会でパンフレットを担当していた経験もあり、いつの間にかデザイン添削やツール指導なども担当するようになりました。また、同時期に始まった学内ポータルサイト「電大navi」にも関わり、新聞委員会と「電大navi」の連携を調整する役割を担いました。それらの結果、現在では誌面のクオリティも向上し、「電大navi」も円滑に運営されています。今後は、より魅力的な記事の発信や「電大navi」の発展を期待しています。



● 文化部会本部

文化部会本部は、ボランティア部や写真部など文化系団体を統括し、活動監督や予算配分などを行う組織です。コロナ禍で活動が停滞していたため、各団体から2名ずつ所属する方針となり、私も1年生から参加しました。1年生の中盤に成り行きで総務局長補佐となり、その後2年生で総務局長、3年生で会長を務めました。引き継ぎ資料がほとんどない状態から、当時の先輩方と協力して改革を進め、規約改正、連絡体制の整備、部会誌の復活、団体名の正規化、部室配分の見直しなど、必要な施策を着実に実施しました。活動基盤は整ったと思うので、今後は後輩たちに確実に引き継ぎ、より団体を支援できる組織へと発展していくことを願っています。

● あだち大学フェス

「あだち大学フェス」は、足立区内の大学連携を目的として今年5月から企画を始めたイベントです。会場の都合などから8月に開催することが決まり、ボランティア部のメン

バーを中心に実行委員会を組織し、委員長として約2ヶ月で準備を進めました。足立区からの後援を受け、各大学への協力依頼、出展団体の募集、予算や会場の確保、広報活動など、できる限りの準備を行いました。初の試みで運営メンバーも手探りの部分が多かったものの、当日は約250名の来場者を迎えることができました。これまでの学生団体での経験や人脈を活かした集大成的なイベントとなり、無事に終了した際には大きな達成感を得ることができました。来場者アンケートでも高い満足度を得られたため、今後は後輩たちにこのイベントを引き継ぎ、他大学との連携を深めながら、より大規模な開催へと発展していくことを期待しています。



現在の学科での勉強について・授業との向き合い方

幼少期からパソコンや機械の操作が好きで、高校時代にはプログラミングにも触れていたことから、ハードウェアとソフトウェアの両面をバランスよく学べる情報通信工学科に進学しました。特に印象に残っている授業は「サーバープログラミング演習」で、3人1組でWebアプリを開発する実習形式の授業です。機能やデザインをグループで話し合いながら実装していく過程を経験でき、とても有意義でした。そのほかにも、建学の精神である「実学尊重」に基づいた授業が多く、実践的に楽しく学ぶことができています。

就職活動について

学部3年の夏に2週間の実務インターンシップに参加しました。その企業を含め、複数社から内定をいただきましたが、それぞれとよく相談した結果、大学院進学を決めました。

大学院進学について

学部では授業や課外活動を通じて多くの経験を積むことができましたが、研究に関しては学部4年だけでは不十分だと感じました。そのため、大学院へ進学し、より専門的な知識を身につけながら本格的な研究活動に取り組み、さらなる成長を目指したいと考えています。



TDUブリコンサークル

TDUブリコンサークル2025 活動報告

理工学部 建築・都市環境学系 3年

加藤 司



私たちは、9月4日～6日に行われたJSBC2025(JAPAN STEEL BRIDGE COMPETITION2025：通称ブリコン)に出場しました。

長さ4mの橋梁模型を制作し、架設の速さ、構造的強さ、美しさ、プレゼンの上手さ、の観点から競い合います。今年度は2回目の参加になりました。

5月ごろに大会の要項が発表され、そこから設計、ソフトによる解析、加工を行ってきました。

今年は、開催地である愛知にフォーカスし、観光地である日の出石門から着想を得た、「日の出橋」を制作しました。水平線から太陽が昇る姿をアーチ構造で表現しました。アーチ構造とは、上向の湾曲した曲線部材を用いた構造形式で、荷重を主に圧縮力として支える「アーチ作用」により、鉛直荷重と水平反力に抵抗する仕組みになっています。今回は、アーチ構造とトラス構造を組み合わせることでより強度の高い橋の完成を目指しました。また、昨年からの改良として添接板の厚さを1.6mm→3.2mmにし、全ての接合箇所では挟み込む方法を採用しました。この方法により、昨年よりもかなり強度の高い橋が出来上がりました。

大会では載貨競技においてたわみの目標値8mmに対して9.2mmと好成績を出すことができました。昨年の反省点をしっかりと活かした結果となりました。しかし、架設競技では目標時間を大幅に超過してしまいました。このような結果になってしまった理由として、加工時間が大幅にかかってしまったというのがあります。本来夏休み期間中に大学のものづくりセンターで加工を行い、その後架設練習を行うという予定となっておりました。しかし、加工が終わるのに思いの外時間がかかり満足に架設練習を行えませんでした。最終結果として総合順位22チーム中13位という結果に終わりました。

大会期間中、色々な大学、高専、企業の方と交流を行いさらに知識を深めることができました。また、色々なチームの橋梁模型を見ることで、よりデザインの引き出しを増やすことができましたと思います。

活動を通して、チームでまとまって活動していくことの難しさと感じることが多くありました。大会に向けて準備していく中

で、うまくいかないことが多々ありその度にスケジュールを調整したり、1日の加工量を増やしたりとその場その場で対処していくということが起きました。本来であれば予定通りに進むはずが、進捗を確認してみればまだ終わってなかったりと計画の杜撰さを実感することがあり実践するまでわからないことが多かったりかなり苦労して大会に出場することになりました。来年はこのような事が無いよう余裕を持った予定を立てたいと思います。

今回、1つの模型を制作するだけでもかなりの時間と労力、そしてお金がかかることを考えると、本来の橋にはこれよりも多くの人が関わり、長い時間と多くのお金をかけて作り上げるということに、改めてインフラの規模感の大きさを実感させられます。

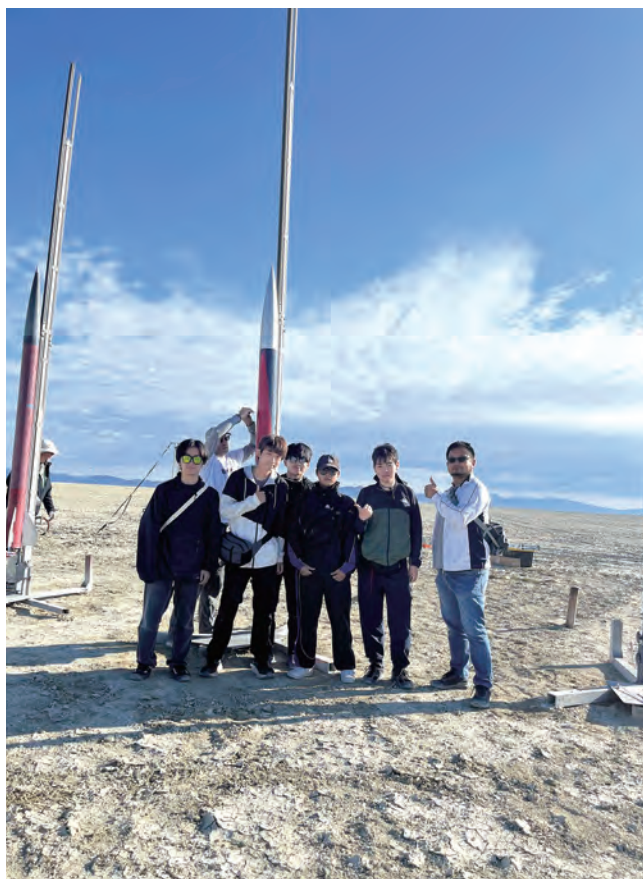
最後にはなりますが、今回大会に出場するにあたり、指導をいただいた顧問の宮地一裕准教授、加工の手助けをいただいたものづくりセンターの技術員さん、支援をいただいた後援会の方々に感謝申し上げます。



TDU_TeamDauntlessUncharted (千住)

TDU_Team Dauntless Uncharted ARLISS2025

未来科学部ロボット・メカトロニクス学科 2年
大野 舜



ARLISSとは「A Rocket Launch for International Student Satellites」の略称で、毎年9月頃にアメリカのブラックロック砂漠で行われるロボットコンテストです。参加チームは自作したロボットを専用の筒に入れ、ロケットに搭載して打ち上げます。ロケットから射出されたロボットはパラシュートで降下したのち、ゴールを目指すか、または自ら設定したミッションを実行し、その結果を競います。

私たちTDU_Team Dauntless Unchartedは、地面効果翼機を模したAパーツと二輪ローバのBパーツ、そして2機を収納し自動で展開するケースを製作し、大会に出場しました。ミッションの最終目標を、Aパーツは地面の凹凸(轍)を乗り越えながら広範囲を効率的に探索すること、Bパーツは写真の撮影と着地地点の探索を行い、Aパーツに続いて安全なルートを確認すること。ケースはロケットからの射出判定と着地判定を行い、クッション材としてA・Bパーツを安全に着地させることと設定しました。

千住キャンパスからの出場は初めてでしたが、賞を取ることを目標に8月は毎日大学にて朝から夜まで機体の製作

と実験に取り組みました。千住キャンパスが使用できない一斉休暇期間には鳩山キャンパスを利用させていただき、メンバー全員で作業に励みました。

大会では2回のロケット打ち上げを行いました。1回目はケース内でのAパーツの稼働を実現し、2回目ではBパーツとケースが稼働、Bパーツは轍を少し走行することができました。最終的な審査の結果、21チームが参加したなかでBest Mission Awardの2位とTechnical System Awardの3位を受賞いたしました。初出場としては大きな成果を得ることができましたが、改善すべき点も多く見つかりました。今後もこのプロジェクトを継続し、より良い結果を得るために、技術の継承やロボットの改善に努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、ご支援や応援を賜り、誠にありがとうございました。精神的にも金銭的にも余裕を持って大会に臨むことができました。TDU_Team Dauntless Uncharted一同、心より感謝申し上げます。

東京電機大学 FCV・EV プロジェクト

バッカス 2025 ～次のステージに向けて～

工学部 先端機械工学科 3年
藤田 大輝



東京電機大学FCV・EVプロジェクトは先生、OB、企業の協力を得て、秋田県大潟村で開催された世界三大ソーラーカーレースの一つである、ワールド・グリーンチャレンジ・ソーラーカーラリー(WGC)に参加しました。本大会は電気や燃料電池などのクリーンエネルギーを用いた電気自動車のレースで、速度を競うのではなく、省エネ技術を含む持続可能なエネルギー社会の実現を目指し、提案を目的としています。

私たちは「走る楽しさ」と「環境性能」を両立した電気自動車を目指し、学科の垣根を越えて製作に取り組んでいます。電気自動車は技術の塊とも呼ばれるほど様々な技術が使われており、ゼロから製作するには一分野の知識だけでは完成できません。そのため専門の異なる仲間と協力し、OB・OGのように社会で活躍できる技術者を目指しています。また、OB・OGや先生方の助言を受けながら実験や改良を重ねる中で、ものづくりの面白さと難しさを学び、授業だけでは得られない貴重な経験を積んでいます。

今年度は新たにバッテリー急速充電システムの製作や、トランスミッションユニットの性能を引き出すための変速システムを改良を行いました。機械加工面では自作のCNC加

工機でシートを作成し、レースに臨みました。

大会初日、緊張の中スタートを切った車両は約1時間半かけ無事ピットへ帰還しました。現在の車両では初のコース完走だったため、その瞬間チーム全員が大きな達成感に包まれました。二日目以降は夜間の雨でコースに水たまりが残り、速度を抑えて慎重に走行しましたが三日目にはラップタイムを大きく更新し、51分台での完走を果たしました。

その結果、今年度は部門別3位に加え、周回数とラップタイムについて評価されるグリーンラリー競技で全出場チームの中で2位という成績を収めることができました。改良や新規製作への挑戦が成果につながり、大きな自信を得ることができました。一方で、現行のバッテリーのみのシステムには限界を感じました。今後はより航続距離を延ばすため新たなシステムの構想を練り、現状システムにも改良を加えていきたいと考えています。

最後に、私たちの活動をご理解いただき、多大なご支援を賜りました後援会の皆さまに深く感謝いたします。今後も走りの楽しさを体感できる1人乗り電気自動車の実現に向け、活動を続けていきますので、温かいご支援のほどよろしくお願いいたします。

東京千住キャンパス

11号館(複合施設)

ロジシア
丹羽ホール
100周年ホール
カフェ(イタリアントマトJr.)
ギャラリー
実験・実習室
ワークショップ教室
教員室・研究室
セミナー室
学生ラウンジ
ルーフガーデン1
入試センター
国際センター
法人・大学本部
校友会
総合受付

22号館(図書館・教室)

図書館
教室・パソコン教室
学生ラウンジ
ルーフガーデン2
東京千住キャンパス事務部
学生支援センター
総合メディアセンター
健康・学生相談室
受付

33号館(学生厚生施設)

食堂
カフェラウンジ
売店
学生ラウンジ
体育館
武道場
トレーニングルーム
学生部室

44号館(研究施設)

実験・実習室
教員室・研究室
教室
セミナー室
学生ラウンジ
受付

55号館

教室
実験・実習室
教室・研究室
ものづくりセンター千住
学生ラウンジ
民間スポーツクラブ
ルーフガーデン3
総合メディアセンター



埼玉鳩山キャンパス

11号館

総合メディアセンター
(パソコン実習室)
(図書閲覧室)
研究室
ATM

22号館

総合メディアセンター
(パソコン実習室)
研究室
実験室
夢工房

33号館

教室
研究室
化学実験室

44号館

第1学生食堂「樺」
喫茶「HATO CAFE」
理容室・郵便局

55号館

体育館

66号館

教室
研究室
実験室

77号館

第2学生食堂「樹海」

88号館

教室
物理実験室
研究室

99号館(100周年記念棟)

自習室
クラブ・委員会室
ラウンジ・売店
リエゾン施設
談話室

1010号館(本館)

エントランスホール
事務室
プレゼンテーションホール
メディアルーム
教室
パソコン教室

1111号館

総合研究所
埼玉共同利用施設

1212号館

アトリウム
学習サポートセンター
国際センター鳩山プランチ

1313号館

教室
実験室
研究室
バーチャルスタジオ

13多目的広場



令和6年度は、「奨学金の充実」「施設・設備の充実」「課外活動への支援等」「その他」「ファンドdeサポート」の使途区分で募金活動を行い、966件、725,888,685円(内ご父母99件、2,880,427円)のご寄付を賜りました。

また、令和6年度につきましても、学生・生徒への支援に際し、大学院、大学、高等学校、中学校に在学する学生・生徒のご父母の皆様をはじめ、卒業生、教職員・元教職員や一般賛同者の個人、団体、法人から、温かいご支援を賜りました。皆様からのご厚志に心より御礼申し上げます。

今後とも、本学園に対しまして、ご支援お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、サポート募金を原資として実施した各事業につきましても、以下のとおりご紹介させていただきます。

学校法人東京電機大学 理事長
学校法人東京電機大学サポート募金委員会委員長
渡辺 貞綱

1. 東京千住キャンパス、埼玉鳩山キャンパス「ものづくりセンター」

平成29年に東京千住キャンパスに開設された「ものづくりセンター」は、「教育」「研究」「社会貢献」を目的とした、東京電機大学の建学の精神「実学尊重」を具現化する最新施設です。施設内では、安全講習・加工講習など各種講習会の開催や、プロのスキル・豊富な知識を有する技術員による技術相談などが行われています。「技術は人なり」の理念とものづくりの楽しさを広げ、学生の創造と想像を支援するための教育を推進しています。

また、令和4年度より試行運用していた埼玉鳩山キャンパスも、令和6年4月より本格運用を開始いたしました。埼玉鳩山キャンパスと東京千住キャンパスをオンラインで接続し、リアルタイムサポート環境を提供することで、従来よりも幅広いサポートを実現しています。埼玉鳩山キャンパスについては、精密高速旋盤や金属加工用治工具類、CAD用パソコン等を導入しました。東京千住キャンパスについては、汎用フライス盤を導入したほか、利用者数が最も多い3Dプリンタのリブレースを行い、学生のものづくり活動を強力にサポートすることができました。

今後も対面・オンラインを相補的に活用し、また、ご支援により導入した機器を活用しながら、高品質なサービス・支援を効率的に提供してまいります。



加工講習の様子



3D プリンタ

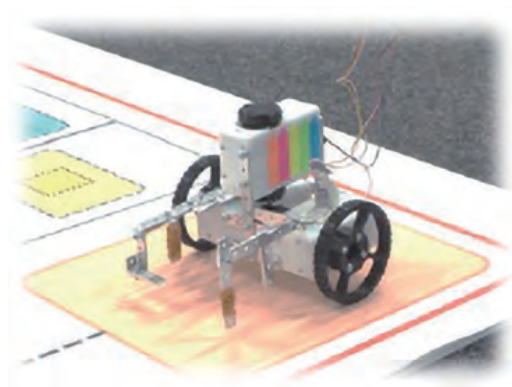
2. 総務部(地域連携・事業担当)

大学の教育・研究成果をわかりやすい形で提供し、地域社会の活性化に貢献するため、毎年様々な取り組みを推進しています。

令和6年度は、本学教員による「光科学実験」や「プログラミング教室」、「電気自動車」といった本学と企業の連携講座、本学学生による「電大ガールズによる理科実験教室」など、主に小中学生向けの体験型講座を16講座開催し、地域の皆様に参加していただきました。これらのプログラムは、参加者が自ら手を動かし学ぶことを基本としています。寄付を活用させていただき、すべての講座を無料で実施いたしました。

また、ファンドdeサポート募金にいただいたご厚志により、「TDUロボット教室」「TDUロボットコンテスト TDUカップ」を開催いたしました。「ロボット教室」ではロジスティクスの抱える課題を学び、その解決策を探ると同時に、実際にロボットの製作に取り組みました。「ロボットコンテスト」では製作したロボットを使用し、コンテスト形式で課題解決にチャレンジしました。

これらの講座を通して「理科」「科学」そして「ものづくり」の面白さを体感してもらい、地域活性化の一助となれるよう今後も努めてまいります。



3. 施設・設備の充実

(1) 東京千住キャンパス

① 大学院フリーアドレス研究室座席予約アプリの拡張

東京千住キャンパス5号館10階に、大学院生が第2の研究室として利用できる大学院フリーアドレス研究室を設置しています。令和6年度は、利便性向上を目的とし、スマートフォンから座席を予約して利用することができる座席予約アプリの導入・稼働を行いました。その結果、大学院フリーアドレス研究室の利用が増加し、大学生の研究環境の充実に大きく貢献しました。

② マシニングセンタ納入に伴う電源工事

安田工業株式会社様より現物寄付としていただいたマシニングセンタの設置に必要な電源工事を実施しました。



大学院フリーアドレス研究室



マシニングセンタ

(2) 埼玉鳩山キャンパス

① 教室什器の更新

アクティブラーニングへの対応を可能にするため、教室の机・椅子の刷新を行いました。机はキャスター付きのものへ変更し、移動が容易になりました。また、椅子はプラスチック製からメッシュ素材の座面へ変更し、軽量化され座りやすくなりました。これにより、学生の授業環境を大幅に改善することができました。

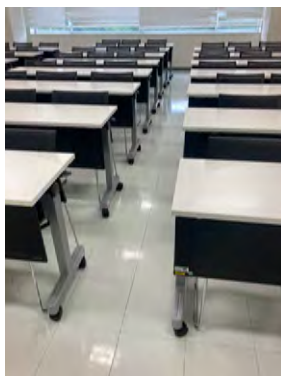
② 学生食堂自動券売機の更新

学生食堂自動券売機の新貨幣・キャッシュレス決済への対応を目的とした更新を行いました。学生食堂を利用する学生や教職員の利便性が大幅に向上し、これまで以上に多くの利用が見込まれています。

③ 就職相談室間仕切り工事の実施

就職資料室内の就職相談ブースの間仕切り工事を行い、個室化したことによって、就職相談室を利用する学生のプライバシーを確保することができました。

これにより個別の相談内容が周りから聞こえづらくなり、就職相談室の利用者数の増加が見込めるとともに、より安心して多岐にわたる内容をキャリアカウンセラーに相談できる環境を整備することができました。



机・椅子



自動券売機



就職相談室

4. 現物寄付

(1) 株式による寄付

本学名誉博士神山治貴様、裕子様ご夫妻より、保有する株式330,000株のご寄付をいただきました。いただいたご厚志をもとに、東京電機大学に在学する学生の教育環境の支援・充実を図るため、「東京電機大学 神山治貴教育助成基金」を設立し、特色ある教育活動等の奨励と次世代を担う人材の養成を目指していきます。

(2) 教育研究用設備

安田工業株式会社（代表取締役社長 安田拓人様）より、教育用マシニングセンター一式を、工学部機械工学科に寄贈いただきました。

寄贈いただきました機器は、学生たちの教育・研究のために使用させていただいております。教育においては、機械工作実習での利用を開始しました。研究関連では、工作機械特性の評価などに使用しています。

5. 奨学金の充実

(1) 学生サポート給付奨学金

サポート募金を原資とした「学生サポート給付奨学金制度」は、家計急変により学費の支弁が困難な修学意欲のある学部生に対し、在学中1回に限る50万円給付のものと、在学中2回までに限る25万円給付の2つの奨学金が用意してあります。令和6年度は、1名の学生に対して給付いたしました。

また、大学院進学制度として推薦入試による大学院合格者のうち、入学金支弁が困難な学生に対して入学金相当額の8万円を給付する奨学金を用意しており、令和6年度は、8名の学生に対して給付いたしました。



(2) 東京電機大学深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金

初代電機第一工業学校長などを歴任された故波多諄三先生のご息女 故深井綾様からのご厚志を原資とし、「東京電機大学 深井綾女性研究者・技術者育成特別奨学金制度」を実施しています。

本制度は、大学院に在学する女子学生に対して奨学金を給付し、将来、研究者・技術者として社会で活躍できる人材育成を目的としています。

令和6年度は、99名の学生に奨学金を給付いたしました。

奨学金受給学生からの感謝の声

- この度は東京電機大学学生サポート給付金にご寄付いただき、心より感謝申し上げます。皆様のご支援のおかげで、大学院で学び続けることができ、今後の学びの環境が整いました。いただいたご支援を無駄にしないよう、引き続き学業に励み、技術者としての成長を目指して努力してまいります。ありがとうございました。
- この度は奨学金をご寄付いただき、誠にありがとうございます。皆様のご支援により、研究に必要な製品や機材を購入することができ、より質の高い研究を行う環境が整いました。これにより、学業と研究に専念できるようになり、将来の可能性を広げる大きな一歩を踏み出すことができました。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
- 奨学金のご支援を頂きまして、ありがとうございます。私は高校生の時に建築士を夢見ており、建築学専攻に進学いたしました。ご支援のおかげで、現在は学業に専念することができており、自分自身の設計した建物が街に残ることを目標に今後も一層の努力を続けていく所存です。ご支援を頂いた全ての方々に心よりお礼申し上げます。
- 奨学金、どうもありがとうございます。私は決して裕福な家庭の出身ではないので、このような機会を与えていただき大変感謝しております。学部時代も学生職員の給料で生活費を賄っており、学費も貸与奨学金で何とかしています。そんな生活なので、貰えるものは貰え、使えるものは使え、と学ぶことに貪欲にやってきました。なかなかほかの奨学金には採用していただかず苦しいですが、今後たくさんのことを学んでいけるように頑張ります。
- ご寄付いただいた皆様に心から感謝申し上げます。給付奨学金を受けることで、大学院生活に専念できる環境を整えることができました。この給付奨学金が決して無駄にならないよう勉学・研究に励み、努力を惜しまず大学に貢献していきます。ありがとうございました。

6. 課外活動への支援

課外活動への支援として、次の16団体に対してご寄付をいただきました。

(1) 東京千住キャンパス (11団体)

- | | |
|------------------|------------|
| ・ グリークラブ | ・ 軽音楽部 |
| ・ 演劇部 | ・ アマチュア無線部 |
| ・ バレーボール部 | ・ 剣道部 |
| ・ I D C ロボコン | ・ 卓球部 |
| ・ 水泳部 | ・ 硬式庭球部 |
| ・ コーストジャズオーケストラ部 | |

(2) 埼玉鳩山キャンパス (5団体)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| ・ 管弦楽部 | ・ 軽登山部 |
| ・ 東京電機大学 Formula SAE Project | ・ TDU スペースプロジェクト |
| ・ 東京電機大学 Formula SAE Project 等 | |

●学生団体よりサポート募金の使途の報告

剣道部（東京千住キャンパス）

剣道部は1年生から4年生まで計29名で活動しています。日々の活動内容としては、生涯剣道をするための技能向上の練習、関東学生剣道連盟、東京都学生剣道クラブ開催の大会、講習会への参加に向けた練習を行っています。

令和6年度は、大会での1回戦敗退が多く、悔しい経験が残る1年となりました。また、4段昇段者が新しく2名誕生しました。

今回皆様からいただいたサポート募金は、垂れネームと大会で着用するポロシャツの購入に充てさせていただきました。この度は多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。



洋弓部（東京千住キャンパス）

東京千住キャンパス洋弓部は部員計4名で活動しています。4月に行われるリーグ戦を主たる目標とし、個人の技術向上のための練習、公式試合への参加に向けた練習を行っています。

令和6年度は、男女リーグ戦第2部記録会で、男女ともに入れ替え戦に進出しました。また、関東学生アーチェリー個人選手権大会では、1名が本選に進出し、男子94位という結果を残しました。

今回のサポート募金で、弓のメンテナンス用品、屋内トレーニング用品を購入させていただきました。ご支援いただきまして、ありがとうございました。



IDC ロボットコンテスト（東京千住キャンパス）

International Design Contest (IDC ロボットコンテスト 大学国際交流大会、通称：IDC ロボコン) は、世界各国から大学生を集めて開催されるロボコン国際大会です。創造性と国際性を持ち合わせた学生の育成を目的に、1990年から開催されています。参加する学生たちで多国籍の混成チームを結成し、大会初日にテーマとルールが発表、英語でコミュニケーションを取りながら、アイデアを出し合い、協力してロボットの設計・製作に取り組みます。そして、チームの集大成であるロボットと共に競技会に挑みます。

2024年度国際大会には、選考委員会で決定した6名の学生とロボット・メカトロニクス学科の釜道紀浩教授が参加しました。サポート募金は、渡航費用(航空券)の一部として使用させていただきました。ご支援いただきまして、ありがとうございました。



Formula SAE Project（埼玉鳩山キャンパス）

フォーミュラSAEは自動車開発のエンジニア育成を目的としたアメリカ発祥の教育プログラムです。マシンの設計技術や開発コストの管理能力を評価する静的イベントとマシンを走行させ性能を評価する動的イベントの2つがあり、それぞれの得点の合計で総合順位が争われます。レーシングマシンの開発は、社会に役立つ技術や製品を生み出すためのノウハウが凝縮された活動です。チームワークを学び、日々より良い設計や製作をするために試行錯誤をしています。皆様からいただいたサポート募金で、大会参加費のほか、電装ハーネスや気象計等を購入させていただきました。ご支援いただきましてありがとうございました。



7. その他の事業に対する主な寄付

- (1) 特別支援（奨学金）
- (2) 鳩山キャンパスにおける研究費もしくは研究施設・設備の維持
- (3) 分析センターに対する支援
- (4) ものづくりセンター施設・設備の充実
- (5) 未来科学部建築学科への支援
- (6) システムデザイン工学部デザイン工学科への支援
- (7) 研究に関する産学連携推進活動
- (8) 産学連携・社会連携事業に対する支援
- (9) 学生就職支援
- (10) 図書購入に対する支援



学校法人東京電機大学サポート募金ご協力のお願い

「学校法人東京電機大学サポート募金」は、各キャンパスでの事業や学生・生徒活動などのさらなる推進を目的に活用させていただく募金です。

寄付者の皆様のご意思を尊重し、「奨学金の充実」「課外活動への支援」「施設・設備の充実」「その他」のほか、各団体・部署が実施するプロジェクトに直接寄付を行うことができる「ファンドdeサポート」など、寄付金の使途を指定することができます。

お申込み方法についての詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.dendai.ac.jp/about/gakuen/foundation/>

【お問い合わせ先】

学校法人東京電機大学 募金事業室

TEL：03-5284-5143

FAX：03-5284-5185

E-mail：bokin@jim.dendai.ac.jp



東京電機大学後援会ホームページ

後援会のお知らせや事業紹介、父母懇談会の日程、『学苑』のバックナンバーなどを掲載しています。



ぜひご覧ください。
今すぐQRコードからアクセス！

東京電機大学後援会



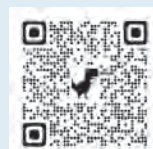
アゴラ 学園広報誌「TDU Agora」

「TDU Agora」では、毎月、本学の学生・生徒並びに教員の活躍、大学、中学校・高等学校の取り組み、イベントなど、沢山の情報をお届けしています。是非ご覧ください！



「TDU Agora」はこちらから
ご覧いただけます

TDU Agora



大学の事務取扱は、その内容により担当部署が分かれております。お問い合わせなどは下記の部署にご連絡ください。

学業関係 授業、試験、成績など

●工、工2、未来、システム	
東京千住キャンパス事務部(教務担当)	03-5284-5333
●理工	
理工学部事務部(教務担当)	049-296-0430

学生生活関係、奨学金、クラブ活動など

●工、工2、未来、システム	
学生支援センター(学生厚生担当)	03-5284-5340
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0496

就職関係 就職、アルバイトなど

●工、工2、未来、システム	
学生支援センター(キャリア支援・就職担当)	03-5284-5344
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0489

進学関係 大学院進学、学部の転部、編入学など

●全学部	
入試センター	03-5284-5151

学費関係 授業料、手数料など

●全学部	
経理部(会計担当)	03-5284-5131

国際交流関係 留学生、短期海外英語研修など

●全学部	
国際センター	03-5284-5208

後援会関係 父母懇談会など

●全学部	
後援会事務局(学生支援センター(学生厚生担当))	03-5284-5340

※工＝工学部、工2＝工学部第二部、理工＝理工学部、未来＝未来科学部、システム＝システムデザイン工学部

後援会へのご意見はこちらへ

後援会では、東京電機大学がより良い大学となるよう活動を展開したいと考えております。

つきましては、ご子女を通学させる中で、日頃感じている問題点や要望など、率直なご意見をお聞かせくだされば幸いです。

メール gs_kouenkai@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5340

『学苑』第172号(非売品)

2025年11月発行

発行 東京電機大学後援会

発行者 新澤 佳代

印刷 東京アート紙行株式会社

東京電機大学後援会事務局
(学生支援センター(学生厚生担当))

Tel: 03-5284-5340 Fax: 03-5284-5391

〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/tdupfa/top.html>